

令和6(2024)年8月9日  
総務学事課

第57回(令和6年度)岡山県三木記念賞受賞者の決定  
—授与式を挙ります—

故 岡山県知事三木行治氏が受賞されたマグサイサイ賞の賞金等を原資とした基金により、地域社会の発展に貢献した方を顕彰する岡山県三木記念賞について、第57回(令和6年度)受賞者を次のとおり決定しました。

1 受賞者決定までの経過

- ・ 4月18日(木) 候補者の募集開始
- ・ 5月17日(金) 推薦締切り ※候補者数13名
- ・ 7月4日(木) 第1回運営審議会……受賞候補者選考の諮問
- ・ 7月23日(火) 第2回運営審議会……受賞候補者の選考及び答申

2 受賞者(表彰状・メダル及び賞金30万円)

氏名	年齢	役職等
やまもと まさとも 山本 昌知	88	元岡山県精神保健福祉センター所長

3 授与式

- (1) 日時 令和6年9月2日(月) 16時30分から
- (2) 場所 ルネスホール(岡山市北区内山下1-6-20)
- (3) 出席者 受賞者、知事、議長、過去の受賞者等 約25名

4 その他

今回の受賞者で累計の受賞者は233名となります。

# 三木記念賞

岡山市中区山崎

やまもと まさとも  
山本 昌知 (88歳)

## 1 主な経歴

- 昭和36年 3月 岡山大学医学部卒業
- 昭和39年 6月 岡山県立病院勤務 (昭和44年7月まで)
- 昭和44年 8月 医療法人社団宏知会青山病院 (尾道市) 勤務  
(昭和47年3月まで)
- 昭和47年 4月 岡山県精神衛生センター (現: 精神保健福祉センター) 所長  
(平成9年3月まで)
- 昭和51年10月 岡山県立内尾センター (精神障害者社会復帰医療施設 平成  
18年3月閉所) 所長兼務 (昭和58年3月まで)
- 昭和63年 7月 岡山県精神医療審査会委員 (平成20年6月まで)
- 平成9年 4月 こらーる岡山診療所開院
- 平成28年 6月 こらーる岡山診療所閉院

## 2 功績の概要

氏は、昭和11年に岡山県に生まれ、昭和36年3月に岡山大学医学部を卒業後、岡山県立病院及び尾道市青山病院の勤務を経て、平成30年に引退するまで一貫して精神科医療の第一線に立ち続けてきた。

その間、昭和47年には岡山県精神衛生センター (現: 岡山県精神保健福祉センター) 所長に就任し、外来診療や訪問診療に積極的に取り組むとともに、同51年には岡山県立内尾センターの開設に尽力し、自ら所長 (兼任) に就任、「入院中心」が当たり前だった精神科医療を、「地域で患者を支える」医療に大きく転換させる先駆的な取組を行うなど、地域で患者を支える拠点がなかった時代に、専門職員を育てながら、入院に頼らない患者支援のあり方を追求し続けた。

精神保健福祉センター所長を25年間務めた後、「こらーる岡山診療所」を平成9年に開院、作業所を併設するとともに、診療所の運営委員会に患者を入れたり、患者自身が体験を語る活動を始めるなど、どこまでも「患者が主役」の立場に立った取組を行い、平成20年にはこの活動がドキュメンタリー映画として公開され、広く注目を集めた。

また、「こらーる岡山診療所」閉院後も患者のために精神科医療の提供に尽力するなど、氏の長年にわたる献身的な活動は、患者の地位向上及び本県の精神科医療の発展に大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。